

明治グループのサステナブルな酪農の実現に貢献する取り組み ～牛乳におけるカーボンフットプリント算定と Jクレジット制度を活用したビジネスモデルの構築～

2023年8月30日

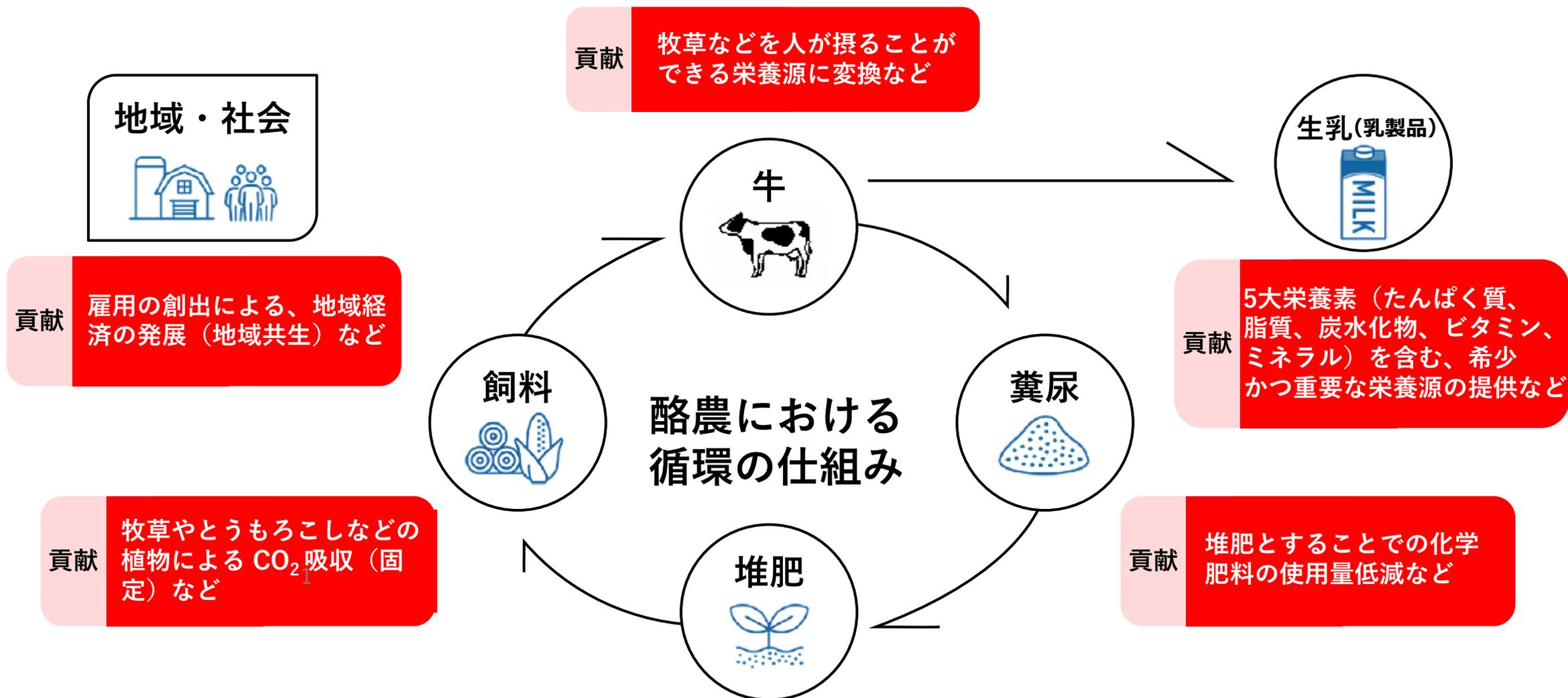
明治ホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部

サプライチェーンの持続可能性のために

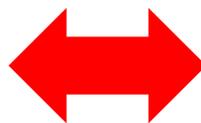
健康にアイデアを

meiji



サプライチェーンの持続可能性のために

酪農業は持続可能な
社会に不可欠



ゲップ・糞尿などが
地球温暖化に影響



栄養源

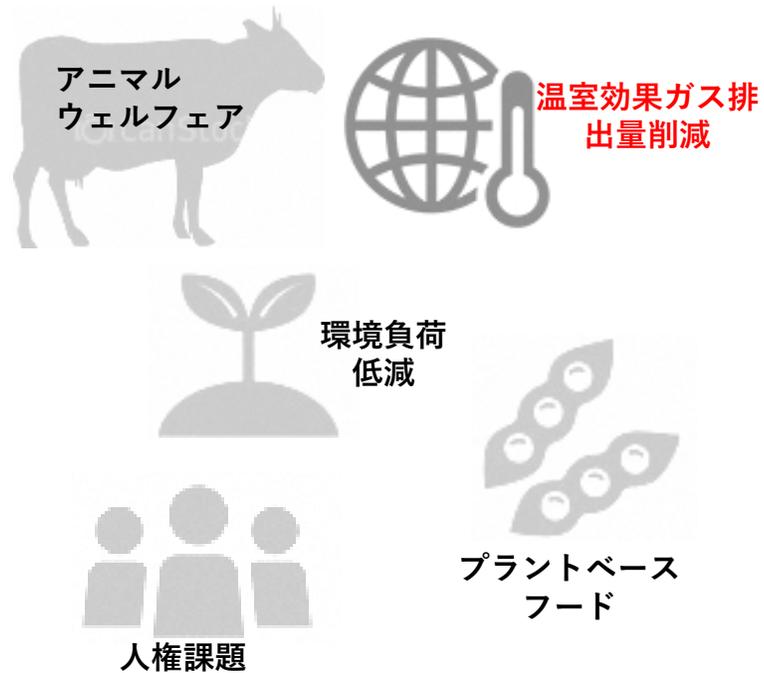


地域活性
(雇用)

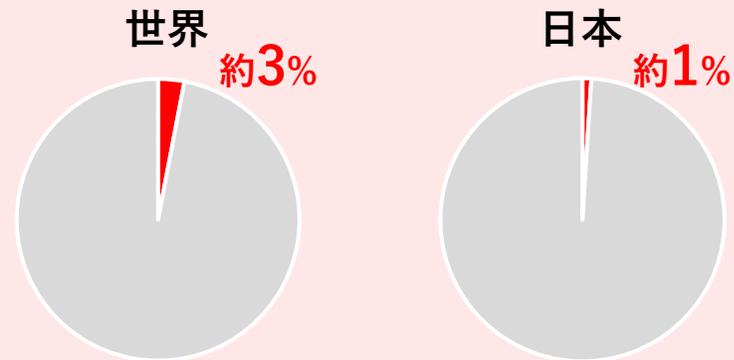


Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

酪農乳業界の抱える課題



牛のゲップ由来のメタンなど酪農乳業による温室効果ガス（GHG）総排出量の割合



世界における酪農乳業界の貢献

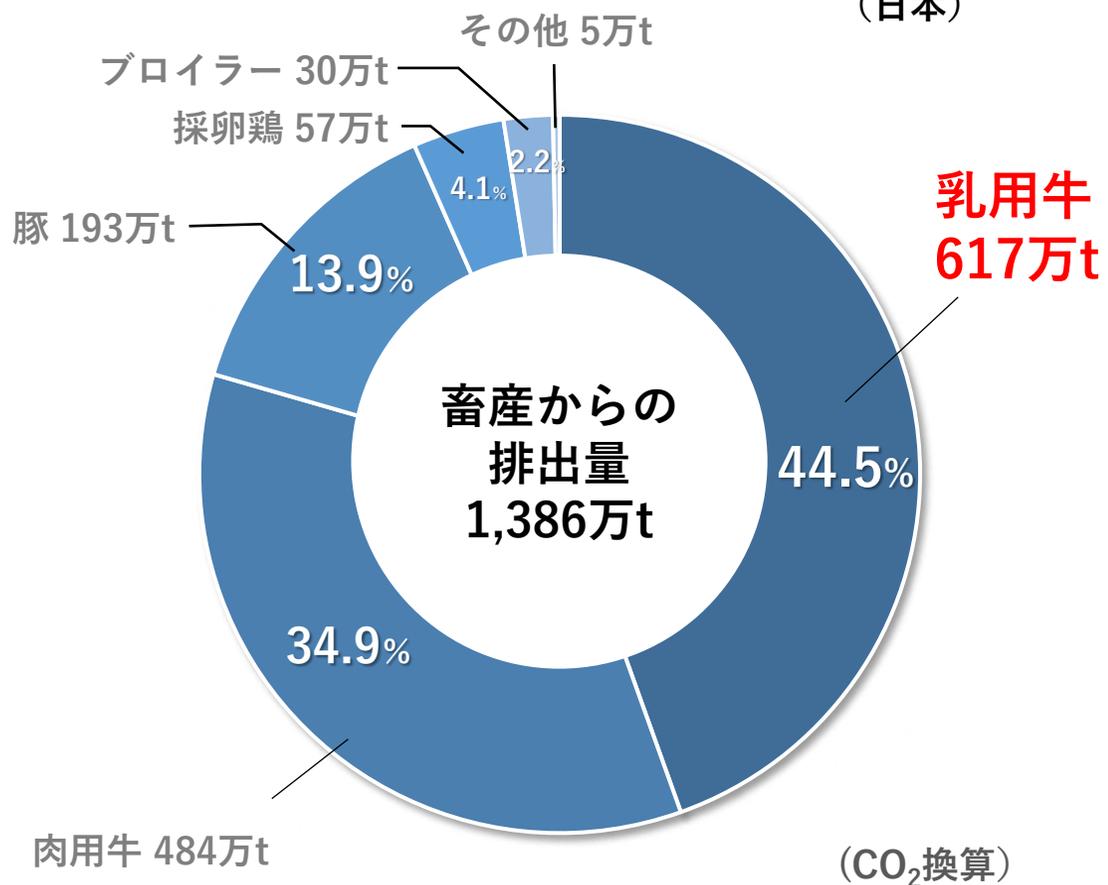
- 酪農乳業に携わる人：約10億人
- 乳製品を定期的に消費する人：約60億人

(出所) ・「気候変動と世界の乳牛セクター」
国連食糧農業機関（FAO）およびグローバル・デーリー・プラットフォーム（GDP）、2019年発行
・Jミルク酪農乳業 SDGs 推進ワーキングチーム（2020年11月）、農研機構資料

Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

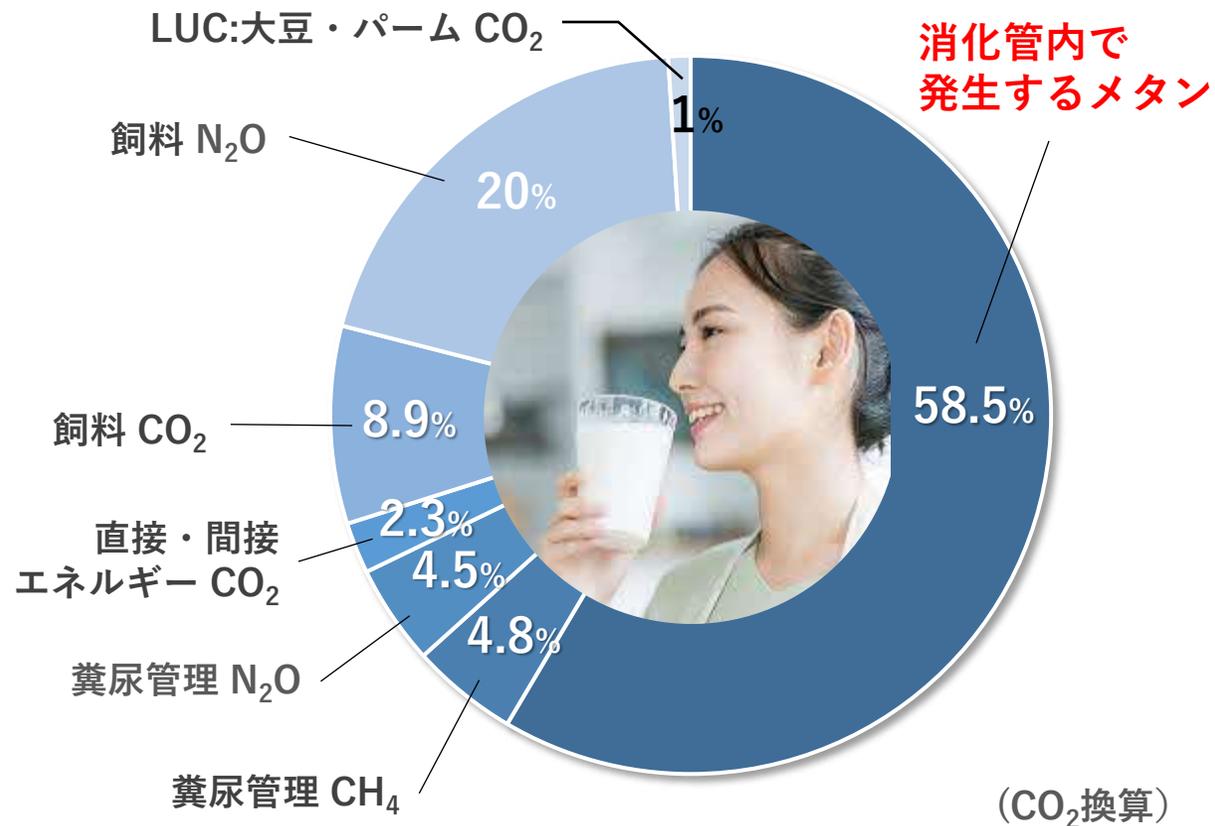
畜産全体に占めるGHG排出の構成

(日本)



牛乳におけるGHG排出の構成

(世界)



出典：農林水産省「畜産・酪農をめぐる情勢」を基に作成

出典：国連食糧農業機関およびグローバル・デーリー・プラットフォーム「気候変動と世界の乳牛セクター 将来の低炭素社会における酪農乳業セクターの役割」(2018年)

今回のチャレンジ

家畜の排泄物から発生する
N₂Oを削減する取り組み

Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

明治グループにおけるGHG排出量の削減目標



明治グループが特に取り組む項目

Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

明治グループにおけるGHG排出量実態（2021年度）

Scope 1

Scope 2

Scope 3

自社排出量（CO₂換算）

53.6万ト

自社以外の排出量（CO₂換算）

322.7万ト

85%が
自社以外



カテゴリ 1



カテゴリ 2



カテゴリ 3



カテゴリ 4



カテゴリ 5



カテゴリ 6



カテゴリ 7



カテゴリ 9



カテゴリ 12

明治グループが特に取り組む項目

Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

2021年度 Scope3
GHG排出量の内訳 (CO₂換算)



製品に関する排出量が大半を占める

社会および明治グループとして
「酪農業におけるGHG排出量削減」
▶ 最優先課題

